

三浦海岸で出会った変なヤツ！ ヒラムシとヘラムシ

毎年恒例の三浦海岸フィールドワーク。今年の参加人数は過去最高の28人！ちょっと多すぎると思ったけど、何とかあった。去年13種も見つかったウミウシ（Vol.109参照）は、今年は6種だけだった。ほぼ同じ時期なのに不思議だ…。代わりに、今回初めて見る面白い生き物が色々見つかった。

「海藻に擬態してる変なヤツを見つけました！」セアがその“変なヤツ”を手渡してくれた。え？なんじゃこりゃ？！**節足動物**であることは間違いないが、エビでもないしフナムシでもない。たしかに“変なヤツ”だ。さらに、いた場所を見てびっくり。なるほど、**生えてる海藻にそっくりじゃないか！**実に見事な擬態だ。「確かヘラムシとかそんな名前だったような…」とソウシ。（後で調べたら、**イソヘラムシ**の仲間だと分かった。なんでこんなマニアックな生き物の名前知ってるんだよ…）

今度はコウタが何かを見つけた。「**ヒラムシだ！**」とまたしてもソウシが教えてくれた。ヒラムシといえばプラナリアと同じ**扁形動物**の仲間だ。それは知っていたのだが、予想外の動きに度肝を抜かれた。「このヒラムシ、泳いでる！」なんと、ひらひらと結構なスピードで泳いでいたのだ。プラナリアは石の上とかをゆっくり這うように進むので、ヒラムシも“へばりつく系”だと勝手に思っていた。ううう…ヘラムシもヒラムシも面白れえ…（それにしても名前がややこしい…）。今回初めて引率したK先生も「ヒラムシが面白かった」とイチオシだった。

自分が海の生き物に詳しくないこともあるが、海って本当に変な生き物がたくさんいて毎回驚かされる。毎年のように行っているのに、**知らない生き物に出会えるのがじつに楽しい。**

今年のメンバーもみな「生き物が好きだ！」という気持ちがピシバン伝わってきて、みんなで観察にのめり込むのがとても楽しかった。



イソヘラムシ（節足動物）

初遭遇の未知の生物。ヘラムシは調べても全然情報が無い。研究者が少ないようだ。からだに節（ふし）があり、エビなどと同じ節足動物だと分かる。



海藻にのるイソヘラムシ

海藻に乗っていると、見事な擬態で溶け込んでしまう。色も質感もそっくりだ。



海藻が生えていた環境

この中にイソヘラムシがいたとしても絶対に見つけれない。



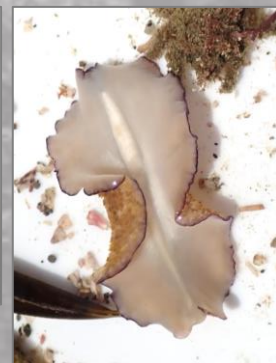
イボヒラムシ（扁形動物）

ウミウシに似ているが、ウミウシは軟体動物（貝の仲間）なので動物門レベルで違うグループの生き物。扁形動物で有名なのはプラナリア（ナミウズムシ）。



イボヒラムシのイボイボの表面

名前の通りイボイボがある。平べったい見た目からして這って移動するのかと思っていたが、かなり活発にひらひらと泳いでいて驚いた。



泳ぐヒラムシ！

なぜか裏返った状態で泳ぐ。理由は分からないが裏返った状態であることの方が多かった。



今年も見つけたウミクワガタ

極小の節足動物。左に移っているのは親指の爪。ウミクワガタについてはVol.14参照。

←（左）みんな大興奮の生物観察の様子

（右）ユウリ特製の最強アイテム「地下足袋+わらじ」

これが最も滑らないと話すユウリ。タダモノじゃない！